

理工学部が「青少年のためのロボフェスタ2016（神奈川県主催）」 に出展しました。2016/11/19,20



ロボットを触って楽しもう！（ロボット研究会メビウス）

上：学部生が遊びを通じてロボットの面白さを伝えました。

左：米澤助教と理工学研究科の大学院生がロボットの仕組みを説明、実際に迷路を作ってロボットが通り抜けられるか観察します。



知能移動ロボットの自律行動アルゴリズム(山口研究室)

2016年11月19日（土）、20日（日）神奈川県立神奈川県総合産業高等学校（相模大野駅より徒歩15分）において開催された「青少年のためのロボフェスタ2016」に本学理工学部山口博明教授研究室とロボット研究会メビウスが参加しました。学生や大学院生がサポートし、子どもたちがロボットをみるだけでなく、実際に触れたり、操作できる企画で大いに盛り上がりました。

青少年のためのロボフェスタとは



先端技術であるロボットを通して、子どもたちをはじめ多くの方々にもものづくりの楽しさや科学の素晴らしさを体験していただく神奈川県主催のイベントです。

出展者紹介

山口研究室

出展協力：
理工学部情報テクノロジー学科
山口博明教授、米澤直晃助教

本研究室においては、移動ロボット工学、とりわけ、波動歩行機械の制御、多重連結車両システムの制御、複数車両から構成される隊列の制御、マルチエージェントにおける協同行動の設計、計算幾何学に基づく動作計画など非線形性の高いロボットシステムの解析と制御に関してコンピュータを駆使して研究を展開しております。

ロボット研究会メビウス

出展協力：物理・数理学科
三井敏之教授

ロボット研究会メビウスは理工学部や地球社会共生学部の学生23名で構成されており、週1、2回活動しています。顧問は理工学部物理・数理学科三井敏之教授、活動内容は主に電子工作。電子部品で遊んだり、ロボットなどを設計・研究・製作したりしています。初心者でも安心、一から丁寧に教えます。